

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者在宅福祉給付事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	寝具の乾燥及び消毒を行うことが困難な65歳以上の在宅高齢者	意図	高齢者の在宅生活の充実を図るとともに、要介護・要支援状態の進行を予防する
事業内容	寝具乾燥サービスの提供を行うことで、高齢者の在宅生活の充実を図るものとする。			
事業開始から現在までの状況変化	寝具乾燥は平成6年度、日常生活用具は平成2年度開始。平成21年度までは高齢者住宅改造助成事業及びひとり暮らし高齢者緊急通報装置給付事業も同一事業として行っていたが、平成22年度に事業を分離し事業経費を明確にした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	布団乾燥実施件数	913	986	1,053	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト				寝具乾燥サービスは高齢者のみの世帯を対象に提供しており、利用は増加傾向にある。
事務事業の総コスト(a=b+c)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
事業費(b)(円)	3,133,115	3,261,146	3,409,383	
うち一般財源	2,446,615	2,589,946	2,750,183	
職員給与費(c)(円)	2,446,615	2,589,946	2,750,183	
人役・職員(人)	686,500	671,200	659,200	
人役・再任用(人)	0.10	0.10	0.10	
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	広報及びホームページ等で広く周知することで、サービスを必要とするより多くの方に提供できるように努める。	③取組における課題(Check)	高齢者の増加に伴い、対象者の増加が想定されるため、サービスを必要とする高齢者への周知に努める必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	広報紙やホームページ等でPRを図った。また窓口や電話での問い合わせに対し、丁寧に制度の説明を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き電話や窓口、民生委員会や高齢者なんでも相談室等を通じて制度をPRし事業の周知に努めるとともに高齢者にわかり易い説明を行う。